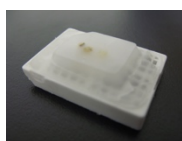


がんゲノムプロファイリング検査 病理組織検体情報提供書

遺伝子プロファイリング検査施行に当たり、下記を参照して頂き、準備をお願いいたします。

以下 ①②③及び④ご準備後 **本票のコピーもご提出下さい。**
(準備の際は、にチェックを入れご確認ください)

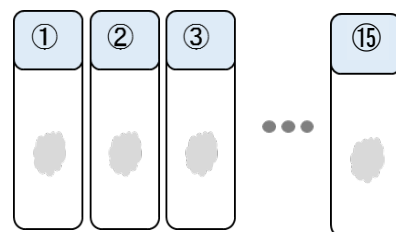
①パラフィン包埋ブロック



ブロック提出が難しいときは次ページに沿った

スライドガラス

未染標本 5µm 15枚



- ・包埋ブロックは**病変を代表する1ブロック**をお願い致します。
- ・腫瘍検体サイズが **25mm²以上**、**原則3年以内作製**のブロックが対象です。
- ・**薄切順の通し番号**をスライドガラスに記載し、1ガラスに1切片のみ貼付して下さい。
(②でお願いする貴院の病理番号は不要です)



②上記ブロックより作製した HE 染色標本 1枚

- ・未染標本供与の場合、**未染標本15枚薄切後(16枚目)**の作製をお願い致します。腫瘍の残存量を評価いたします。
- ・ブロック貸出の場合でも **HE染色標本1枚(バーチャルイメージ可)**をお願い致します。
- ・送付 **HE標本の返却は致しません**ので、貴院保管 HE を送らないようご注意ください。
- ・**貴院での病理番号をご記載**下さい(下記③との照会に使用致します)。

③貴院の病理診断書のコピー

④ご提出頂く病理組織検体の条件

- ・検体採取部位：
- ・固定に用いたホルマリン：10%中性緩衝ホルマリン その他()
- ・ホルマリン固定時間：24時間以内 24-48時間 48時間以上(日間) 不明
- ・検体採取法：手術 生検
- ・検体採取日： 年 月 日
- ・検体の脱灰：なし EDTA脱灰 その他の脱灰()

遺伝子解析に用いる未染標本作製(次ページ)に関して多くの注意点があり、原則としてブロックの提出をお願いいたします。

<未染標本作製時の注意点>

貴院にて未染標本作製して頂く場合には以下の点にご留意ください。

- 1) マスク、帽子、手袋、ガウンの着用（それぞれ、新たなディスポーザブル製品を使用すること）の上、薄切前に必ずマイクロトームの刃を交換し他検体の混入（コンタミネーション）がないようにご配慮ください。
- 2) 薄切水槽は十分洗浄してから使用し始めて下さい。ディスポの容器などを使用することもコンタミネーションを防ぐ方法となります。水槽の水は症例ごとに新しい水に交換して下さい。
- 3) 脱灰（EDTA 脱灰は除く）した検体は検査できません。なお、EDTA 脱灰でも検査不能の場合がありますので、ご留意下さい。
- 4) 標本作製費、送料等につきましては、貴院にてご負担下さいますようお願いいたします。
- 5) 貸し出されたブロックの返却はエキスパートパネル終了後になります。通常1～2ヶ月で返却の手続きを致します。
- 6) 検体の大きさによっては未染標本提出のご施設には追加標本作製をお願いする場合がございます。

送付先 〒241-8515 神奈川県横浜市旭区中尾二丁目3番2号 神奈川県立がんセンター

(担当医) がんゲノム診療 科

TEL : 045-520-2222 (代表) 内線